

知床半島ヒグマ管理計画 の普及・啓発方策について

目標とする状態

地域住民や利用者が…

- 人身事故を回避するための方法を理解している。
- ヒグマとの軋轢がなぜ生じるのかを理解し、軋轢回避のために適切な行動を取っている。

目標の設定

• 管理計画の目標

- ③利用者の問題行動に起因する危険事例の発生件数を半減させる。
 - ④地域住民や事業者の問題行動に起因する危険事例の発生件数を半減させる。
 - ⑧ヒグマによる人身事故を引き起こさないための知識、ヒグマに負の影響を与えずにふるまうための知識を地域住民や公園利用者に現状以上に浸透させる。
- 成果は対象とする層の意識変化と態度変容
→問題行動が減少すれば、③④達成の可能性は高まる
- ⑧は現状では測定できる方法なし

情報発信の強化に至る背景

多様な利害関係者

- 国立公園の利用者
- 地域住民
- 自然ガイド
- 公園内で働く従業員
- 道路管理者
- 行政関係者

状況の変化

- 出没状況の悪化
- 危険事例の発生が増加
- 人による問題行動が多発

ヒグマに関する情報を
誰もが容易に入手できるようにする必要がある

戦略の立案

• 対象と届けたいメッセージ

- 国立公園の利用者
 - Stop餌やり、車から降りるな、遭遇時の対処法、警報注意報
 - 地域住民（斜里・羅臼・標津）
 - 遭遇時の対処法、誘引物を確実に管理、警報注意報
- ⇒ 「利用者・地域住民に求められる行動」を実践してほしい

• 使用する媒体

- 国立公園の利用者
 - パンフレット、看板、利用施設への掲示
 - ウェブページ、SNS
- 地域住民
 - 地域向けの講座、クマ学習、町広報・新聞折り込み、施設への掲示（役場・公民館等）、同報メール・防災無線

全体的なものは未整備



不十分さ残るものの実施されている

提案内容

• ウェブページ・SNSを通じた公式情報の提供

- 知床のヒグマに関する公式ページを立ち上げる
- SNSを通じて情報（注意報警報・出没情報・ルール等）を拡散させる
- SNSを活用して公式ページに誘導する



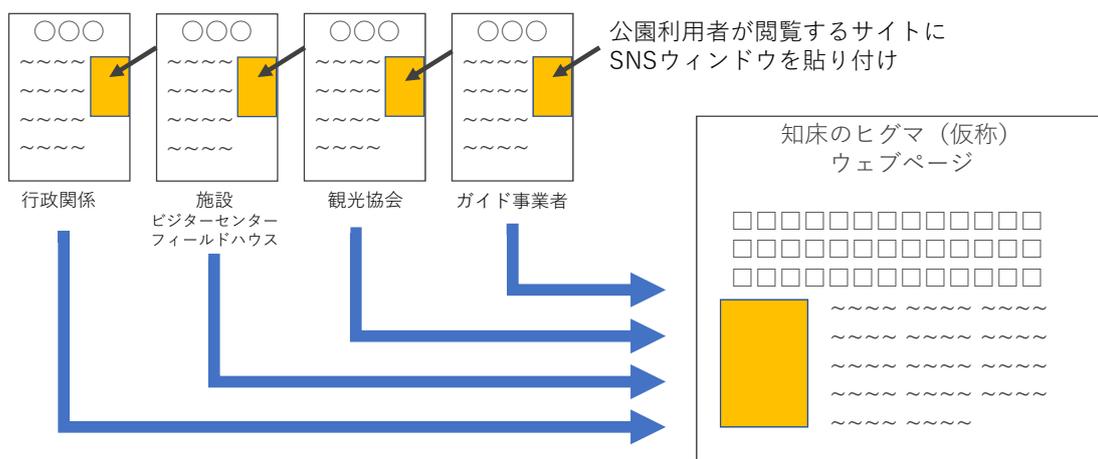
行動変化を促すための情報提供

スケジュール

- 平成29年度～ 自然ガイド等を対象にSNSを通じた情報提供を試行
公式ページは知床財団ページを代用
- 平成xx年度～ 一般利用者も含めて全面的な情報提供を開始
公式ページを立ち上げる

ウェブページ・SNS

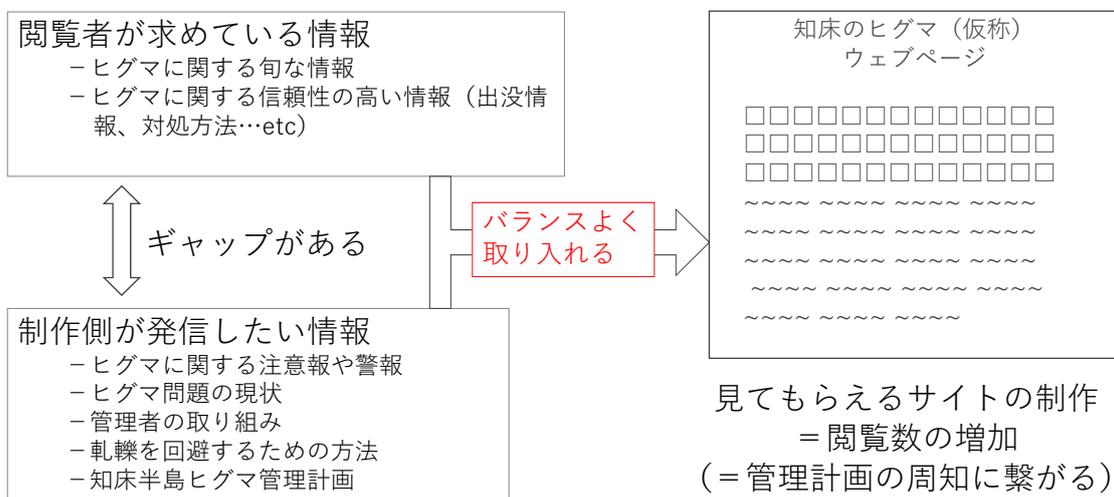
ウェブページとSNSの関係



SNSウィンドウを入りに、
目的のサイトまで閲覧者を誘導する

SNSは情報拡散の道具

ウェブページ作成のための考え方



見てもらえるサイトの条件

- 更新頻度が高く、常に最新情報が掲載されている
- 信頼性の高い情報が掲載されている
= 知床のヒグマの公式情報
- 外部サイトからのリンクがある
 - 行政機関
 - 観光協会
 - 観光事業者など

知床のヒグマに関する公式ウェブページ 「知床のヒグマ（仮称）」構成案

- 固定ページ = 更新頻度低
- ヒグマの生態
 - 知床半島におけるヒグマの生態を解説する。
 - ヒグマとの軋轢
 - 知床半島で発生している軋轢の現況を解説する。データ等は知床データセンターに掲載あり。知床財団が管理するサイトに一般向けに書かれた内容の掲載あり。
 - ヒグマ対処法
 - 知床財団が管理するサイトに掲載あり。
 - 知床半島ヒグマ管理計画
 - 管理計画の内容を一般向けに解説する。
- 更新頻度高め = SNSを活用して発信することを想定
- ヒグマに関する注意報や警報
 - 利用者が関係する危険事例や人身事故が発生した際に情報発信する。
 - ヒグマに関する旬な情報発信
 - 日刊ヒグマ情報（ヒグマの動きに関する旬な情報等）、遊歩道や登山道におけるヒグマの出没情報等

日刊知床ヒグマ情報

- 知床財団が提供する民間情報
- 対象範囲は知床国立公園
- ヒグマ情報の共有交換のプラットフォームとして整備
- 事実と科学的な知見をベースに利用者が自らの行動を意思決定する材料を提供



ヒグマ事故の防止および事故
発生の際の被害軽減に寄与

2016年から試行、施設内のレクチャーで使用



SNS活用のための考え方

- 情報を拡散するための道具
- ヒグマに関する情報をオンタイムで常に発信するために使用
 - 日刊知床ヒグマ情報
 - ヒグマの出没状況（フレペの滝・知床五湖・登山道）
 - 注意報警報の発信

• Twitter 匿名性、常に新しい情報が供給

• Facebook 実名、履歴として残りやすい

↳ ヒグマ情報の発信にはFacebookが適している



論点・課題

- ホームページの運営体制
 - 知床財団ページを発展させる形
 - ゼロからページを構築する
- 対象者・対象範囲・扱う情報
 - 当面の主対象は斜里側の公園利用者
 - 羅臼側の公園利用者、ゾーン1・2隣接地に暮らす地域住民（3町）への波及を期待
- 取り扱う情報について
 - 有害捕獲に関する情報の取り扱い
- 他地域におけるクマ情報発信との違い
 - 対象に外国人含む不特定の利用者を含む（=SNS活用による情報発信が必要）
 - 単なる害獣としての扱ただけでなく、地域に利益をもたらす存在、興味を持たれている存在としてのヒグマ
 - ポジティブ・ネガティブ情報を調整→人を惹きつける材料